

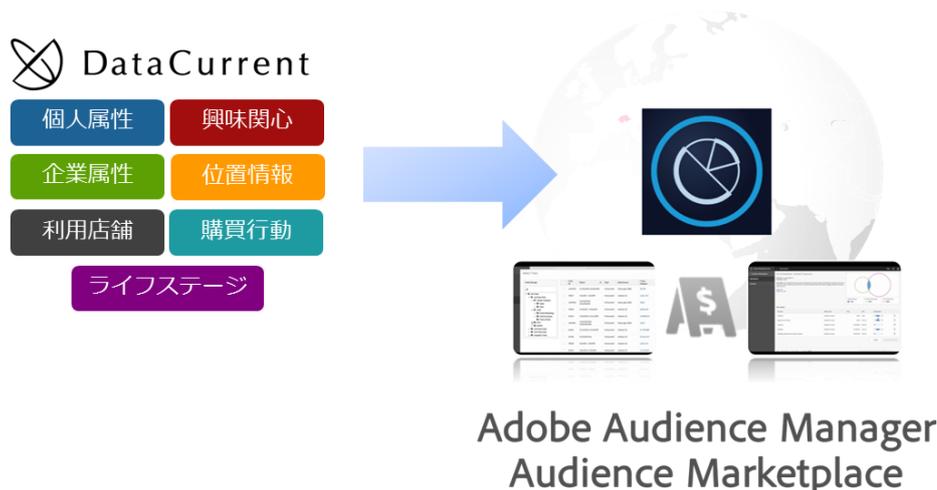
各位

2019年8月19日
株式会社サイバー・コミュニケーションズ

CCIの「DataCurrent」、アドビのデータマーケットプレイス 「Adobe Audience Manager Audience Marketplace」へのデータ提供を開始

株式会社 CARTA HOLDINGS のグループ会社である株式会社サイバー・コミュニケーションズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：新澤 明男、以下 CCI）は、アドビ システムズ 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ジェームズ マクリディ、以下 アドビ）が提供する Adobe Analytics Cloud のデータ管理プラットフォーム（DMP）である「Adobe Audience Manager※1」を介して DMP 利用者とデータプロバイダーの間でデータの流通・売買を可能にするデータマーケットプレイスにデータプロバイダーとして参画しました。

これにより、Adobe Audience Manager 利用ユーザー様は、「DataCurrent※2」のデータエクステンションサービスで保有するデモグラフィック属性、興味関心属性を始めとする様々なオーディエンスデータを、オンライン広告やオンサイトターゲティングでのコミュニケーション最適化に活用することが可能となります。



引き続き、CCI は積極的なデータ提供チャネルの強化を通じて、企業のデジタルマーケティングを支援して参ります。



※1 Adobe Audience Manager とは

Adobe Audience Manager は、企業が持つオンラインとオフラインのデータを統合し、ビジネス要件に合わせたオーディエンスセグメントを構築し、広告出稿やサイト内のターゲティング、最適化等を行うことができる、アドビのオーディエンス管理ソリューションです。分析ソリューション「Adobe Analytics」およびターゲティングソリューション「Adobe Target」とのシームレスな連携により、ターゲットになり得るオーディエンスを素早く発見し、的確なアクションを取ることが可能となります。

Audience Marketplace とは

Audience Marketplace 経由で入手したオーディエンスセグメントにより、ブランド企業は、通常ファーストパーティデータでは入手できないオーディエンスへのアクセス、作成、理解が可能になります。例えば、サードパーティデータを基に類推モデルを作成することでオーディエンスの規模を拡大することができます。また、Adobe Analytics からの web 行動データとパートナーから入手した消費行動データや興味関心情報を組み合わせ、オーディエンスをより理解することができます。これにより、サイト上でリアルタイムに Adobe Target を使ったコミュニケーション、Adobe Advertising Cloud を通した広告コミュニケーションをすることで顧客を活性化させることができるようになります。

※2 DataCurrent とは

DataCurrent は月間4億ユニークブラウザ（UB）、1億のモバイル広告IDを保有している国内最大級のデータ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）を基にしたCCIのデータコンサルティングサービスの名称です。多くの企業のプライベートDMP導入支援やDMP導入後の運用サポートを通じて得たノウハウを活かして、データパートナー企業から提供される膨大なデータを独自に解析し、セグメントの生成/提供をしています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サイバー・コミュニケーションズ

データソリューション・ディビジョン 田中

E-mail: data-req@cci.co.jp

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社サイバー・コミュニケーションズ マネジメントオフィス 小泉

E-mail: press@cci.co.jp